

科目名 Course Name	介護職員初任者研修講座Ⅳ(こころからだのしくみと生活支援技術) Care staff beginner's training lectureⅣ						
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	石川 幸子						
連絡先(質問等)	福祉棟2階研究室、オフィスアワーは月・火・木・金の授業時間						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP1,DP2						
授業の概要と到達目標	<p><概要> 介護職員初任者研修講座Ⅳでは、環境調整と家事、食事、排泄及び終末期の介護について学ぶ。まず介護技術の根拠となる人体の構造や機能を理解したうえで、これに関連させながら、安全で的確な支援方法、利用者の状態・状況に応じた支援の留意点等を講義・演習を通して習得する。</p> <p><到達目標> ①利用者の身体状況に合わせた介護、環境整備のポイントを列挙できるようにする。 ②家事支援の機能と基本原則について、説明できるようにする。 ③食事と排泄に関するからだのしくみが説明でき、安全に支援できるようにする。 ④ターミナルケアの考え方、対応のしかたや留意点、介護職の役割や多職種との連携を説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義で知識を学び、演習を通して技術の習得を行う。利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、一つ一つの介護の根拠を考えながら実践していく。また、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会としたい。						
学習成果	L01	環境調整・家事・食事・排泄・終末期の介護の意義と目的を説明できる					
	L02	介護に必要な基礎的技術を習得し、利用者の気持ちを考えながら介護技術を提供することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却する。小テストは終了後その時間内で答え合わせ・解説を行う。平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	①介護職員初任者研修テキスト/中央法規(介護初任者研修講座Ⅰと同じ) ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	<p>●この授業は、介護職員初任者研修修了のための必修科目である。講義・グループワークとも積極的に参加すること。欠席した場合は、必ずその部分の学習を補い届出等は速やかに提出すること。教室での飲食、机上への飲み物の放置も禁ずる。演習時は身だしなみを整える。また、自己練習をし、技術の向上に努めること。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務経験	<p>●実務経験(職種:介護福祉士、職歴:通算13年)</p> <p>●特に高齢者介護の多様な経験を、利用者の食事介助や排泄介助の演習時に活用する。</p>						
成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	評価基準Sは、授業の準備(テキスト、配布資料等)が整い、授業に集中している。ディスカッション場面では他者の話に耳を傾け、自らの意見も積極的に述べることができる。	10					
レポート/作品	演習時の振り返り、課題①～③で評価する。評価基準Sは、提出期限を厳守していること。自分の体験による感想のみならず、利用者側に立って自身の介護を振り返り、課題が明確に記載できていること。		30				

発表					
小テスト	住環境整備や食事の介護に関する理解ができています。	10			
試験	環境調整の技・快適な住環境整備・自立に向けた食事の介護・自立に向けた排泄の介護・終末期の介護に関する理解ができています。		50		
その他					
合 計		20	80		
回数		授業計画			
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って授業の狙いと進め方、成績評価の方法・演習時の注意事項・演習室の使い方など) 環境整備① 快適な住環境整備と介護 【講義】			
	事前・事後学習	自身の家の環境で、事故を引き起こしやすいと思われる個所を例示する			
2	授業内容	環境整備② 環境調整の技法 【演習】ベッドメイキング			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP117の項目をチェックする			
3	授業内容	環境整備③ 環境調整の技法 【演習】シーツ交換 (レポート① 提出:第4回目)			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP139を記入する			
4	授業内容	生活と家事① 家事と生活の理解 【生活環境の演習】			
	事前・事後学習	高齢者にとって安全で生活しやすい環境について具体例を挙げる			
5	授業内容	生活と家事② 家事援助に関する基礎的知識と生活支援 【講義】			
	事前・事後学習	テキスト2 P56～P81を読んで、重要個所にアンダーラインをひく			
6	授業内容	食事① 食事に関する基礎知識 【講義】			
	事前・事後学習	テキスト2 P168～P183を読んで、食事介助のポイントをまとめる			
7	授業内容	食事② 自立に向けた食事の介護 食事の意義と目的 食事に関する利用者のアセスメント 【講義】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP30～P32を読んで、重要個所にアンダーラインをひく			
8	授業内容	食事③ 安全で的確な食事の支援【演習】(レポート② 提出:第9回)			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP141、P142を記入する			
9	授業内容	排泄① 排泄に関する基礎知識 【講義】(小テストと解説)			
	事前・事後学習	小テストの範囲の勉強(第1回～第8回)			
10	授業内容	排泄② 排泄の意義と目的 利用者のアセスメントと安全で的確な排泄の支援 【講義】			
	事前・事後学習	排泄に関する動作・流れを1つ1つ列挙する			
11	授業内容	排泄③ 安全で的確な排泄の支援 利用者の状態・状況に応じた排泄支援の実際 【演習】おむつ交換 ポータブルトイレ			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP118の項目をチェックする			
12	授業内容	排泄④ 利用者の状態・状況に応じた排泄支援の実際 【演習】ベッド上排泄 (レポート③ 提出:第13回)			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアルP143、P144を記入する			
13	授業内容	終末期の介護① 終末期に関する基礎知識 【講義】			
	事前・事後学習	テキスト2 P277～P279を読んで重要個所にアンダーラインをひく			
14	授業内容	終末期の介護② 終末期ケアとは 高齢者の死に至る過程 【講義】			
	事前・事後学習	高齢者の死に関する記事を切り抜くかプリントアウトする			
15	授業内容	終末期の介護③ 臨終が近づいた時の兆候と介護 基本的態度 【講義】【DVD 視聴】			
	事前・事後学習	テキスト2 P283の事例を読んでの感想を記入する			